

第1章

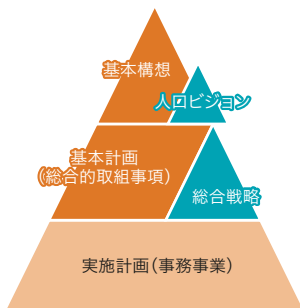
人口ビジョン・総合戦略と総合計画の関係

第1節 人口ビジョン・総合戦略と総合計画の関係

本市は、総合計画の中に地方人口ビジョン・地方版総合戦略を位置づけ、一体的かつ効果的に推進することとしています。

総合計画は、本市の最上位計画であり、全ての分野、施策の方向性を示すもので、総合戦略は、総合計画で示された現状と課題及び分野・施策ごとの方向性を踏まえて、国の示す地方創生の実現に向け、特に重点的に取り組む内容を取りまとめたものです。

■人口ビジョン・総合戦略と総合計画の関係



- 総合計画(基本構想、基本計画、実施計画)
…全ての分野、施策
- 人口ビジョン
…令和22(2040)年までの人口の長期展望
- 総合戦略
…国の示す地方創生2.0構想について、特に重点的に取り組む分野、施策を取りまとめたもの

第2節 計画期間の整合

総合計画と総合戦略の計画期間を統一し、一体的かつ効果的に各種施策を推進するため、第2期総合戦略の計画期間を1年間延長しています。

■総合計画と総合戦略の期間

平成28～令和2年度 (2016～2020年度)		令和3～7年度 (2021～2025年度)		令和8～12年度 (2026～2030年度)		令和13～17年度 (2031～2035年度)	
第2次いなべ市総合計画 基本構想【10年】				第3次いなべ市総合計画 基本構想【10年】			
前期基本計画【5年】		後期基本計画【5年】		前期基本計画【5年】		後期基本計画【5年】	
人口ビジョン (2015～2040年度の長期ビジョン)				人口ビジョン (2026～2040年度の長期ビジョン)			
総合戦略【5年】 (2015～2019年度)		第2期総合戦略【6年】 (2020～2025年度)		第3期総合戦略【5年】 (本計画)		第4期総合戦略【5年】 (次期計画)	

※1年間の計画期間延長

第2章

人口ビジョン

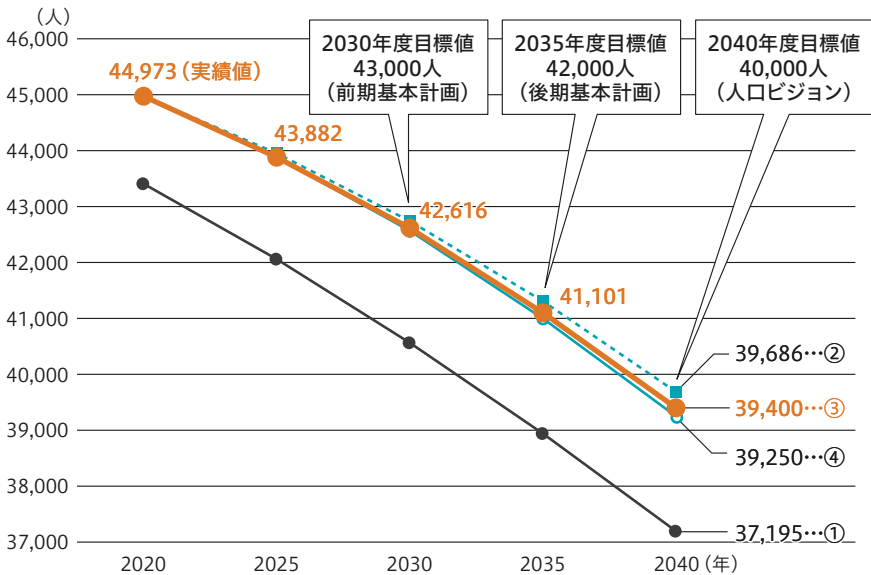
第1節 人口ビジョン

人口ビジョンは、本市における人口の現状を分析し、令和22(2040)年までの長期的な人口の展望を提示したもので、令和22(2040)年度の総人口の目標値を「40,000人」と定めます。

第2節 総合計画と人口ビジョンの整合

総合計画では、人口ビジョンの将来推計を踏まえて、前期基本計画の最終年度となる令和12(2030)年度の総人口を43,000人、また、基本構想及び後期基本計画の最終年度となる令和17(2035)年度の総人口を42,000人と設定します。

■令和7(2025)年現在の本市の人口推計



資料：国立社会保障・人口問題研究所推計及び市独自推計

① 社人研推計(2013年時点)

…企業誘致の影響等により、この時点の人口推計からは実績が大きく上回っている。

② 社人研推計(2023年時点)

…令和2(2020)年の国勢調査結果を反映して上方修正となった。

③ 市独自推計(2025年時点)

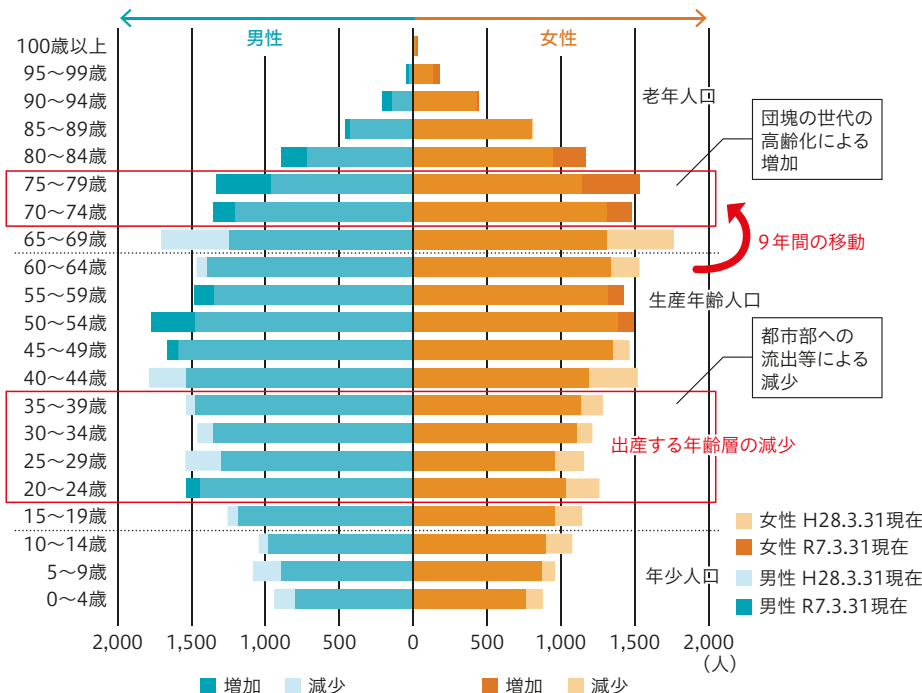
…本市の合計特殊出生率は、令和2(2020)年度の1.22から令和5(2023)年度までの1.43まで、右肩上がりが増えてきたが、令和6(2024)年度は1.21と過去5年間で最低の数値となった。
市独自推計(2025年時点)は、令和22(2040)年度の総人口の目標値「40,000人」に向けて、合計特殊出生率が令和2(2020)年度から令和6(2024)年までの平均値で推移し、若年世代(15歳～49歳)の純移動率※が10%増加、これに伴い0歳～14歳の年少人口の純移動率も10%増加すると仮定して推計している。

※純移動率：転入から転出を差し引いた純移動数を、その期間の開始時点の対象人口で割って算出した率

④ 社人研推計(2023)を基に合計特殊出生率を過去5年平均に調整

…参考として、社人研推計(2023)を基に合計特殊出生率を過去5年平均に調整した推計。

■ 本市の人口ピラミッド比較(平成27(2015)年度と令和6(2024)年度の比較)



資料：住民基本台帳